

令和2年 6月 1日

川崎市議会議長 山崎直史様

多摩区

多摩区町会連合会

多摩区令和元年東日本台風災害からの防災・減災対策に関する請願

令和元年東日本台風による災害では、多摩区内においても甚大な被害を受けました。菅稲田堤及び布田地域並びに堰地域では、床上浸水などから多くの住宅等の被害が発生し、現在も住民が生活再建に苦しんでいます。

また、約8,000人が避難した18か所の避難所では、混乱が生じるなど多くの課題がありました。住民意見を集約した上で検証を行い、避難所の拡充と運営機能の向上が必須であり、町会住民やボランティアなど協力体制の構築が求められます。

多摩区の災害特性である水害・土砂災害の該当地域に居住する多くの住民は、今年も昨年同様若しくはそれ以上の災害が起こるのではないかと不安を抱えています。災害から命を守り、備える喫緊の対策として、以下の項目を実施していただきますよう要望いたします。

請願項目

- 1 菅稲田堤地域・堰地域では約300件を超える住宅被害が発生した。同様の災害を防ぐため、徹底した検証に基づく有効な水害対策を講じること。
- 2 国・県等と連携し、多摩川並びに三沢川、用水路等、多摩川流域の河川しゅんせつなどにより水位を低減し、流量を確保する対策を早急に講じること。
- 3 避難所の拡充及び周知並びに避難所運営における住民意見を含めた検証を実施し、運営体制を充実させること。

- 4 逃げ遅れゼロを目指す「マイタイムライン」（台風接近の3日前から採るべき行動を時系列で個別に決める）の啓発を進めること。
- 5 防災まち歩き・複合型ハザードマップの作成等により危険を顕在化させ、住民に分かりやすく周知すること。
- 6 新型コロナウイルス感染症などの感染症発生時の避難所運営に関するマニュアルを整備すること。

#### 紹介議員

各	務	雅	彦
吉	沢	章	子
井	口	真	美
三	宅	隆	介
露	木	明	美
重	富	達	也
山	田	晴	彦
添	田		勝
大	西	いづみ	
月	本	琢	也
松	川	正二郎	